

「汚水処理施設整備構想」の見直しを行いました

○汚水処理施設整備構想とは

快適な生活環境や川・海を守るため、適正な汚水処理施設の整備手法を選定するための基本方針を示すものです。汚水処理施設整備構想は定期的に見直ししており、このたび人口減少等の諸情勢を踏まえ見直しを行いました。

○見直し結果及び今後の整備方針

見直しを行い、集合処理の整備が完了していない下水道の処理区については、今後の人口減少等を考慮し、区域を一部縮小の上、合併処理浄化槽の区域に変更することが適当との結果になりました。

この結果を踏まえ、汚水処理人口普及率の向上に向けて、整備着手済みの下水道区域の早期完成、合併処理浄化槽の普及促進を図ります。

汚水処理施設整備構想の詳細は、ホームページでご覧いただけます。



下関市汚水処理施設整備構想について

検索

○汚水処理施設とは

大きく2種類の処理方式に分けられます。

集合処理（下水道など）



各家庭や事業所から排出される生活排水等を下水道管で集めて、まとめて処理する方式

個別処理（合併処理浄化槽）



各家庭に合併処理浄化槽を設置して、生活排水を個別に処理する方式

水の四字熟語

社会福祉法人中部少年学院

理事長 石川 啓

ほう らい じゃく すい
蓬 萊 弱 水

出典

太平広記（金岡照光編 中国故事成語辞典 三省堂 参照）

参考

新明解四字熟語辞典

岩波四字熟語辞典

諸橋轍次・鎌田正・米山寅太郎著 広漢和辞典上下巻

日本歴史大辞典5・8

西嶋定生著 中国の歴史2秦漢帝国

渡辺精一著 ビジュアル版史記物語

三省堂

岩波書店

大修館書店

河出書房新社

講談社

講談社

非常に大きな隔たりのあることのとえを、「蓬莱弱水」といいます。「蓬莱」は、中国から遙か東方にある仙人の住む伝説の島で、東の果てのとえ。「弱水」は、中国の西の果ての仙境にある川の名で、西の果てのとえ。「蓬莱」と「弱水」の隔たりは、三十萬里あるといわれます。

「弱水」は青海省の祁連山に発し、甘肅省に入って北流し、居延海に注ぐ張掖河のことだといわれますが、他にも弱水と呼ばれる川はいくつかあります。

「蓬莱」は、中国の神仙思想で説かれる三神山（注）の一つで、不老長寿の靈草が生え、鳥獸や草木は全て白く、黄金や白銀で飾られた宮殿が建ち並んでいるといわれます。これを遠望する時は白雲のようで、常人では到底行き着くことはできないといわれます。

史記に、秦の始皇帝がこの「蓬莱」にある不老長寿の仙薬を求めたことが記されています。齊の人・徐福は始皇帝の命によって、童男童女数千人と共に東海に出发し、「蓬莱」にあるという不老長寿の靈草を求めました。しかしながら、数年かかって、「蓬莱」に行きつくことはできませんでした。「蓬莱弱水」、伝説と現実の間には大きな隔たりのあったのです。始皇帝は徐福の帰りを待ちきれず、その生涯を終えたといわれます。

（注）三神山（方丈・蓬莱・瀛州）